

# 群馬県議会時報

第73巻 令和4年第2回定例会



議長・副議長就任記者会見

群馬県議会事務局

## — 目 次 —

### 議 会 の 動 き

議 会 日 誌 .....	1
第2回定例会 .....	3
議長開会のあいさつ .....	3
知事の提案説明 .....	5
議長・副議長選挙 .....	8
議長・副議長就任のあいさつ .....	8
議長・副議長退任のあいさつ .....	10
質疑・一般質問 .....	12
委員会・委員長報告 .....	18
議案審議状況 .....	24
議決事件概要及び結果 .....	25
可決された委員会提出議案 .....	31
請願の議決結果 .....	33
請願の委員会別審査状況 .....	34
閉会中継続審査（調査）特定事件 .....	36
委員会委員名簿 .....	38
議席一覧表 .....	39
議長閉会のあいさつ .....	40

### 委 員 会 活 動

県 内 調 査 .....	42
総務企画常任委員会 .....	42
健康福祉常任委員会 .....	45
産経土木常任委員会 .....	48
環境農林常任委員会 .....	52
文教警察常任委員会 .....	54

#### 〈表紙写真〉「議長・副議長就任記者会見」

開会日の5月24日、第96代議長・副議長が選出され、就任記者会見を行いました。

星名議長は就任に当たり、「県民の多様な意見を吸い上げ、行政に投げかけていきたい。見えにくい議会活動を県民の身近な政治の場に変えたい。」と抱負を述べました。

# 議 会 の 動 き

## 議 会 日 誌

月 日	曜	行 事
4月15日	金	県内調査（総務企画）
20日	水	” （健康福祉）（産経土木）
22日	金	” （環境農林）
25日	月	” （文教警察）
5月17日	火	議会運営委員会
24日	火	議会運営委員会 第2回定例会本会議（開会・委員の選任・提案説明・議決）
25日	水	議案調査
26日	木	”
27日	金	”
28日	⊕	
29日	⊖	
30日	月	本 会 議（質疑及び一般質問）
31日	火	” （ ” ）
6月1日	水	議案調査
2日	木	議会運営委員会 本 会 議（提案説明・議決・質疑及び一般質問）
3日	金	
4日	⊕	
5日	⊖	
6日	月	議会運営委員会 本 会 議（質疑・委員会付託）
7日	火	常任委員会（総務企画）（健康福祉）（環境農林）（産経土木） （文教警察）
8日	水	”

月 日	曜	行 事
6月9日	木	議案調査
10日	金	特別委員会 (コロナ) (子育て・障害者) (環境・エネルギー) (地域・魅力)
11日	⊕	
12日	Ⓜ	
13日	月	
14日	火	議会運営委員会 調整日
15日	水	本会議 (委員長報告・議決・閉会)

# 第2回定例会

## 議長開会のあいさつ

議 長

井 田 泉



開会に当たり、ごあいさつを申し上げます。

本日ここに、令和4年第2回定例会が招集されましたところ、議員各位には御参集賜り、御礼を申し上げます。

また、閉会中においては、各常任委員会における県内調査をはじめ、各般にわたり活発な議会活動を行っていただき、感謝を申し上げます。

さて、第1回定例会閉会後の3月28日、私はウクライナ大使館にセルギー・コルスンスキー駐日特命全権大使を訪ね、議員各位から拠出していただいたウクライナ人道支援のための義援金をお届けしてまいりました。

コルスンスキー閣下にお見舞いを申し上げましたところ、閣下からは、群馬県議会の支援に対する感謝の言葉をいただくとともに、「避難者が群馬県に行った際は、さらなる支援をお願いしたい」との御要望がありました。群馬県議会では、今後も、県内に避難されるウクライナの方々を支援するとともに、ウクライナの一日も早い安定と平和の実現を強く願うものであります。

さて、4月22日に太田市内の農場において、また、5月10日に桐生市内の農場において、県内6例目及び7例目となる豚熱（CSF）が発生いたしました。迅速な防疫措置の遂行に御協力いただきました関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

今回の豚熱は、6例目の防疫措置の完了からわずか2週間足らずで7例目が発生しており、大変残念であるとともに、危機感を抱いたところであります。県議会では、県執行部とともに、これまでの豚熱発生の原因究明と「再び県内で豚熱を発生させない」ための対策に全力を尽くしてまいります。

一方、県内の新型コロナウイルス感染症については、このところ「病床使用率」等の「医療ひっ迫の状況」に関して、ようやく落ち着いた数字となってまいりましたが、「新規感染者数」や「検査の陽性率」等の「感染の状況」については、依然として目立った改善が見られず、現在もなお、予断を許さない状況が続いているところであります。

そのような中であって、今期定例会では、新型コロナウイルスとの長期戦に備えるための施策を盛り込んだ令和4年度補正予算案の提出が予定されております。

県議会といたしましても、引き続き、各党会派の協力のもと、感染拡大に歯止めをかけるための対策や、3回目のワクチン接種の促進、医療提供体制の整備を進めるとともに、力強い経済の再生とさらなる飛躍に向け、県執行部並びに関係機関との連携を図りながら、全力で取り組んでまいります。

このほか、今期定例会では、新たに構成される委員会のもと、県立森林公園への「憩の森」及び「おうらの森」の追加に伴う県立森林公園の設置及び管理に関する条例の改正をはじめ、各般にわたる議案等を御審議いただくこととなります。

議員各位におかれましては、慎重審議及び適切な議会運営に努められますとともに、併せて県執行部並びに報道機関の皆さまの御協力をお願い申し上げ、開会のあいさつといたします。

## 知事の提案説明



知 事

山 本 一 太

5月24日

令和4年第2回定例県議会の開会に当たり、提案説明に先立ち、一言申し上げます。まず、豚熱に関して申し上げます。去る5月10日、県内7例目となる豚熱の患畜が確認されました。4月に続き、2週間余りでの発生となったことは残念でなりません。

防疫措置については、近隣市町村、JAグループ、建設業協会、トラック協会、バス事業協同組合など、関係の皆さまの御協力をいただき、既に完了しております。この場をお借りして、関係の皆さまには感謝申し上げます。

豚熱対策に関しては、知事就任以来、群馬県にとって非常に重要な産業である養豚業を守るため、さまざまな対策を講じてまいりました。農場の防護柵設置や飼養衛生管理の徹底に加え、野生イノシン対策や知事認定獣医師制度の運用によるワクチン接種など、全国に先駆けた手厚い対策を実施してまいりました。

こうした中7例目が発生してしまったことは、知事としてまさに痛恨の極みです。

県としては、農家の皆さまが安心して養豚業を営むことができるよう、国や市町村、関係機関としっかりと連携し、原因の究明、再発防止に全力で取り組んでまいります。

養豚農家の皆さまには、これまで以上に飼養衛生管理基準の順守徹底をお願い申し上げます。

次に、新型コロナウイルス感染症に関して申し上げます。

県内の感染状況ですが、新規感染者数は依然として多い状況にはあるものの、徐々に減少傾向が見られます。これに伴い、病床使用率も減少傾向です。

しかし、全国的には、ゴールデンウィーク明けに一部地域で過去最多の新規感染者数を更新するなど、依然として予断を許さない状況であると考えています。

今後、たとえ「第7波」に見舞われたとしても十分な対応ができるよう、医療提供体制の強化を図るとともに、できる限り地域経済を回していく必要があります。

引き続き、県民の命と健康、また、暮らしを守り抜くため、感染防止と経済活動の両立に全力を注いでまいります。

県民の皆さま、事業者の皆さまには、引き続き、感染防止対策の徹底に御協力をいただくとともに、3回目

のワクチンを早期に接種していただくことをお願い申し上げます。

それでは、本日提出いたしました議案の概要について御説明申し上げます。

今回の提出議案は、予算関係3件、事件議案10件の合計13件です。

#### 〔予算関係〕

はじめに、予算関係について御説明いたします。

一般会計の補正予算額は、12億9,095万円であり、現計予算額と合算いたしますと、補正後の予算額は、8,199億9,695万円となります。

その主な内容ですが、まず、ウクライナ避難民の受入れに当たり、家具・家電等の購入のための一時金の支給や、県営住宅での受入れを想定して修繕等に係る経費を追加します。

また、引き続き、新型コロナ対策として、救急等医療機関の感染防止対策や介護サービス事業所等への支援を実施します。

このほか、ぐんまフラワーパークのリブランディングに係る基本計画の策定や当初予算編成後に国から内示のあった事業などについて予算化します。

また、企業会計については、流域下水道事業会計における債務負担行為の変更と電気事業会計における債務負担行為の追加を行おうとするものです。

#### 〔事件議案〕

次に、事件議案のうち、主なものについて申し上げます。

第91号議案は、県立森林公園について、「憩の森」及び「おうらの森」を追加するなどの改正を行うものです。

第95号議案は、Gメッセ群馬に県央ワクチン接種センターを設置したことに伴い、中止や延期となったイベント等に係る損失の補償について、和解しようとするものです。

以上、提出議案の概要について御説明申し上げます。

何とぞ、慎重御審議の上、御議決いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、第96号及び第97号議案の監査委員の選任につきましては、事案の性質上、早急に御議決くださいますよう、お願い申し上げます。

----- 6月2日 -----

まずはじめに、今回の補正予算案の追加提出に当たり、日程に御配慮いただいたことに対し、感謝申し上げます。

本日、追加提出いたしました議案について御説明申し上げます。

追加提出議案は、一般会計補正予算1件、人事委員会委員の選任1件の、合計2件です。

#### 〔予算関係〕

まず、予算関係です。

去る4月26日に政府において決定されました「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』」



について、これを群馬県として活用し、生活に困窮する方々への生活支援や、中小企業者等への産業支援を実施いたします。

主な内容ですが、まず、生活支援では、低所得のひとり親世帯に対する特別給付金の支給を行います。

そして、産業支援では、県内中小企業者に対し、ウィズコロナに向けた新事業展開等の前向き投資を促進するための支援金の支給を行うほか、配合飼料価格の高騰の影響を受ける畜産農家の負担軽減を行います。

このほか、OECDが進める先端的な調査に参加するための経費も含め、追加提案に係る補正予算額は30億8,041万円となります。

#### 〔事件議案〕

次に、人事委員会委員の選任についてです。

現在の人事委員会委員であります、石川直美氏の任期が、6月12日をもって満了となりますので、再任しようとするものです。

以上、追加提出議案の概要について御説明申し上げます。

なお、人事委員会委員の選任につきましては、事案の性質上、早急に御議決くださいますよう、お願い申し上げます。

## 議長・副議長選挙

井田泉議長、安孫子哲副議長の辞任に伴い、議長・副議長選挙が実施されました。

選挙の結果、星名建市議員が第96代の議長に当選し、井下泰伸議員が副議長に当選しました。

### 議長就任のあいさつ

議長

星 名 建 市



議長就任に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

このたび、議員各位の御推挙を賜り、第96代群馬県議会議長に就任いたしました。大任を拝し、その責任の重さに身の引き締まる思いであり、群馬県議会の長い歴史と伝統を踏まえ、公正で透明な議会運営に全力で取り組んでまいりたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症が長期化し、未だ収束が見えない状況ではありますが、感染対策を行いながら、アフターコロナを見据えた経済対策も考えていかなければなりません。

また、脱炭素社会の実現に向けたグリーンイノベーションの推進、会議資料のペーパーレス化やオンラインを活用した委員会の開催に加え、さらなるDX化の推進、地域活性化・魅力発信による人口減少対策、豚熱(CSF)の発生原因の究明、医療・福祉・教育の充実、若者の政治離れへの対策等々、議会として取り組むべき課題は、山積をいたしております。

そこで私は、議長として県民から負託された責任の重さを自覚し、県民の信頼に応え、県民が幸福を実感できる群馬県の創造のため、誠心誠意取り組むとともに、積極的に政策提言を行うなど、さらなる議会の活性化に向けて努めてまいりますので、議員各位、山本知事をはじめとする執行部の皆さま、並びに報道機関の皆さまには、より一層の御指導、御鞭撻を衷心よりお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

## 副議長就任のあいさつ

副議長

井 下 泰 伸



副議長就任に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

このたび、議員各位の御推挙を賜り、第96代群馬県議会副議長に就任いたしました。

伝統ある群馬県議会の副議長という大任を拝し、職務の重要性と責任の重さを痛感しているところであります。

現在、新型コロナウイルス感染症対策に加え、グリーンイノベーションの推進、人口減少対策、豚熱(CSF)への対応など、取り組むべき課題は増加しています。

このような中、県民の声を正しく県政に届け、県議会の力を十分に発揮し、県民の皆さまの信頼と期待に応えることが、重要な責務と考えております。

県議会における活発な議論と円滑な議会の運営に努め、県民に開かれた議会となりますよう、星名議長を補佐しながら、全力を尽くす所存でございます。

議員各位、山本知事、執行部の皆さま並びに報道機関の皆さまには、一層の御支援、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、就任のあいさつといたします。

## 議長退任のあいさつ

井 田 泉

議長の職を辞するに当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年5月の第2回定例会におきまして、議員各位の御推挙を賜り、第95代群馬県議会議長の要職に就任させていただきました。皆さまの温かい御支援、御協力を賜り、お陰をもちまして、議長としての重責を果たすことができました。厚く御礼申し上げます。

さて、振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症が長期化する中、群馬県は、医療体制の確保、県民及び事業者への各種資金の拡充、県営ワクチン接種センターの設置など、積極的な対応をしてきましたが、オミクロン株による爆発的な感染者数の増加は避けられませんでした。

また、群馬県は、全国でも有数の養豚県ですが、去年は4カ所、今年に入って2カ所の農場で、豚熱(CSF)が発生し、知事を本部長とする対策本部を設置し、県の総力を挙げて取り組んでいます。

このような厳しい状況にあって、群馬県議会は、拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置し、感染症特有の情報を収集して議論を重ね、また、豚熱に関しましても、養豚場を豚熱から守るための意見書を国に提出するなど取組を進めてまいりました。

一方、県議会議員の定数や選挙区の区割り変更についても、選挙区等検討委員会で、選挙区及び各選挙区の議員数について、協議・検討を重ね、答申をまとめました。

また、DXの推進として、各議員に1人1台のタブレット端末を貸与し、会議資料のペーパーレス化を進めるとともに、オンラインを活用した委員会を開催するなど、県議会におけるICT化を推し進めました。

さらに、ロシアによる軍事侵攻が続くウクライナを支援するため、全議員から募った義援金を、ウクライナ大使館に届けさせていただきましたが、これからも本県に避難されるウクライナ国民への支援を続けたいと考えております。

今後も、議長在任中の取組が県議会のさらなる発展につながるよう一人の議員として尽力するとともに、県民が幸福を実感できる自立分散型の社会を目指して、力の限り努めてまいります。

最後に、議員各位、山本知事をはじめとする執行部の皆さま、報道機関の皆さまに賜りました御厚情に深く感謝を申し上げ、退任のあいさつといたします。

\*\*\*\*\*

## 副議長退任のあいさつ

\*\*\*\*\*

安孫子 哲

副議長の職を辞するに当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

議員各位の御推挙を賜り、昨年5月に、第95代群馬県議会副議長という要職に就任させていただきました。

県政発展のため、井田議長とともに、議会の円滑で公正な運営に努めてまいりました。本日までの重責を無事全うすることができましたのも、議員各位はもとより、山本知事をはじめ執行部の皆さま、報道機関の皆さまの御支援、御協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

この1年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の長期化は、在宅勤務、オンライン授業など、県民の皆さまの生活を大きく変化させ、度重なる豚熱（CSF）の発生は、本県の農業に大きな打撃を与えています。

こうした中、県民の声に耳を傾け、その声を県政に届けるべく、県議会においても熱心に議論を重ねてまいりました。

今後も、副議長在任中の貴重な経験を生かし、群馬県のさらなる発展のため、二元代表制の一翼を担う県議会の一員として、努力を重ねてまいる所存であります。

皆さまのより一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。退任のあいさつといたします。

## 質 疑 ・ 一 般 質 問

■ 5月30日 自由民主党 穂積昌信 議員  
リベラル群馬 小川 晶 議員  
自由民主党 川野辺達也 議員  
自由民主党 金井康夫 議員  
■ 5月31日 自由民主党 神田和生 議員  
令 明 あべともよ 議員  
自由民主党 森 昌彦 議員  
自由民主党 斉藤 優 議員

■ 6月2日 自由民主党 萩原 渉 議員  
リベラル群馬 本郷高明 議員  
自由民主党 亀山貴史 議員  
自由民主党 橋爪洋介 議員  
■ 6月6日 自由民主党 大和 勲 議員  
リベラル群馬 後藤克己 議員  
令 明 金子 渡 議員  
公 明 党 薬丸 潔 議員  
日本共産党 伊藤祐司 議員

### 5月30日 第1日目



自由民主党  
穂積 昌信 議員 (太田市)

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 産業振興について
- 3 上海事務所について
- 4 有機農業の推進について
- 5 環境政策について
- 6 契約事務について
- 7 群馬県立女子大学におけるトランスジェンダーの受入れについて



リベラル群馬  
小川 晶 議員 (前橋市)

- 1 改正障害者差別解消法について
- 2 強度行動障害について
- 3 障害者の芸術文化活動の推進について
- 4 障害者福祉について
- 5 子宮頸がんの予防について
- 6 自殺対策について
- 7 コロナ禍での女性支援について
- 8 流産や死産を経験した女性等へのグリーフケアについて
- 9 農業政策について



自由民主党  
川野辺達也 議員（邑楽郡）

- 1 県民幸福度について
- 2 大規模水害時の広域避難における県の役割について
- 3 日本一の野菜産地づくりに向けた県の取組について
- 4 本県農畜産物等の輸出について
- 5 ウクライナ情勢等に係る本県農業分野への影響について
- 6 ウクライナ情勢等に係る本県経済への影響について
- 7 eスポーツの教育的活用について
- 8 東武鉄道とJR東日本との相互乗り入れ等について
- 9 東洋大学板倉キャンパスの移転について
- 10 国道354号板倉バイパスの早期4車線化について



自由民主党  
金井 康夫 議員（沼田市）

- 1 コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」について
- 2 人口減少対策について
- 3 地域特性を生かした農林業振興について
- 4 地元問題（赤城根橋）について
- 5 民間ノウハウを活用した選挙出前授業について

5月31日 第2日目



自由民主党  
神田 和生 議員（藤岡市・多野郡）

- 1 群馬県の誇る農畜産物について
- 2 群馬県の未来構想について
- 3 飲食店に対する営業時間短縮要請協力金について
- 4 県道前橋長瀬線（柳瀬橋工区）について
- 5 桜山森林公園の活性化について



令明  
あべ ともよ 議員（太田市）

- 1 登山道の維持・管理について
- 2 軽中度難聴児への支援について
- 3 新型コロナウイルス感染症流行下における介護施設・事業所への支援について
- 4 群馬県公式アプリ「G-WALK +」について
- 5 自然史博物館の機器更新について
- 6 低出生体重児の支援とリトルベビーハンドブックについて
- 7 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律について
- 8 県への寄附取扱いについて
- 9 女性の登用推進に向けた環境整備について



自由民主党  
森 昌彦 議員（邑楽郡）

- 1 日本最先端デジタル県の実現に向けた市町村支援について
- 2 带状疱疹ワクチン接種について
- 3 クビアカツヤカミキリ対策について
- 4 地元問題について
- 5 県庁におけるサイバーセキュリティ対策について
- 6 特別支援教育の充実について
- 7 高校教育改革について



自由民主党  
斉藤 優 議員（伊勢崎市）

- 1 知事の戦略について
- 2 県立夜間中学の設置場所について
- 3 種子センターについて
- 4 国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の準備状況について
- 5 県立図書館への電子書籍導入について
- 6 伊勢崎特別支援学校の改修について
- 7 県土整備状況について



6月2日 第3日目



自由民主党  
萩原 渉 議員（吾妻郡）

- 1 群馬県の危機管理体制と安全保障政策について
- 2 中山間地域の地域経済循環政策について
- 3 温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録への県の取組について
- 4 群馬県央地域の都市のあり方について
- 5 ハッ場ダムの地域の生活再建支援について
- 6 上信自動車道整備について



リベラル群馬  
本郷 高明 議員（前橋市）

- 1 ウクライナ避難民の支援について
- 2 本県在住のロシア人の人権について
- 3 新型コロナウイルス感染症対策におけるこれまでの自粛要請の効果について
- 4 新型コロナワクチンの接種リスクについて
- 5 孤独・孤立対策について
- 6 虐待連鎖防止に繋げる保護者への支援について
- 7 外国籍を有する就学年齢の児童生徒について
- 8 特別支援学級に通う日本語指導が必要な外国人の子どもについて



自由民主党  
亀山 貴史 議員（桐生市）

- 1 豚熱対策に関する国への要望事項について
- 2 コロナ禍における県高等学校総合体育大会の開催に向けた新型コロナウイルス感染症対策について
- 3 部活動の地域移行について
- 4 地域医療の整備・充実について
- 5 子どもの居場所づくりの推進について
- 6 移住定住促進について
- 7 古民家再生・活用推進事業について



- 1 コロナ禍における経済支援について
- 2 安全なサイバー空間の構築に向けて
- 3 上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録5周年記念事業について
- 4 第83回国民スポーツ大会及び第28回全国障害者スポーツ大会について
- 5 ぐんま緑の県民税について
- 6 西毛広域幹線道路について

自由民主党

橋爪 洋介 議員（高崎市）

---

6月6日

---



- 1 令和4年度5月補正予算案（追加提案分）について

自由民主党

大和 勲 議員（伊勢崎市）



- 1 OECDの社会情動的スキルに関する調査について

リベラル群馬

後藤 克己 議員（高崎市）

---



- 1 OECD の社会情動的スキルに関する調査について
- 2 新ぐんまチャレンジ支援金について

令明  
金子 渡 議員（渋川市）

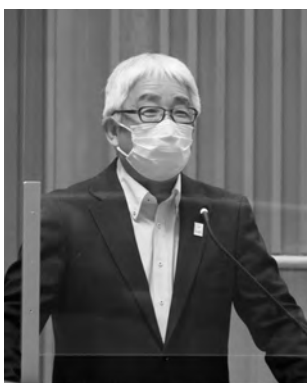
---



- 1 新ぐんまチャレンジ支援金について

公明党  
薬丸 潔 議員（太田市）

---



- 1 新ぐんまチャレンジ支援金について

日本共産党  
伊藤 祐司 議員（高崎市）

---

## 委員会・委員長報告

6月15日

### 健康福祉常任委員会



#### 委員長 穂積昌信

健康福祉常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

はじめに、第98号議案「令和4年度群馬県一般会計補正予算」に関して、生活子ども部関係では、低所得ひとり親世帯向けの給付金に関して、申請が必要な方の人数、支給の判断基準、支給スケジュール等について質疑されるとともに、申請が必要な方への周知や支給判断について要望がありました。

その他の議案についても慎重に審議の上、採決した結果、本委員会に付託されました各議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきまして、お手元に配付の報告書のとおりであります。

このほか、委員会の所管事項に関して、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

まず、生活子ども部関係については、

- ・ヤングケアラーへの支援や実態調査について
- ・低出生体重児への取組と方針について
- ・ぐーちょきパスポートのデジタル化について
- ・群馬県個人情報の保護に関する法律施行条例（仮称）等について
- ・性暴力被害者サポートセンターについて
- ・チャイルド・デス・レビューに係る提言の活用について
- ・電子メールやSNS等を利用した詐欺に対する注意喚起について
- ・さまざまな困難を抱える女性への支援について  
次に、健康福祉部・病院局関係については、
- ・新型コロナウイルス感染状況及びクラスター対策の取組状況について
- ・ワクチン接種に係る今後の県の体制について
- ・強度行動障害について
- ・障害者の文化芸術活動について
- ・今後の県立病院について
- ・遠隔医療推進について
- ・動物愛護について
- ・県立病院における新型コロナウイルス患者受入れに係る影響について
- ・追加接種促進プロジェクトについて
- ・薬局等における無料の新型コロナ検査について
- ・医療従事者に対する新型コロナ定期検査の実施について
- ・コロナ禍における福祉施設・事業所に対する支援について
- ・ワクチン接種に不安を抱える人への対応等について

- ・施設職員に対する新型コロナスクリーニング検査について
- ・子どものマスク着用について
- ・新型コロナ対策の検証について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

## 環境農林常任委員会



委員長 岸 善一郎

環境農林常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告を申し上げます。

はじめに、付託議案の審査についてであります。第86号議案「令和4年度群馬県一般会計補正予算」に関して、ぐんまフラワーパークの見直し方針に関し、集客施設の設置や独立採算制について質疑されました。

また、ニホンジカの捕獲に向けた鳥獣被害広域対策や台湾における輸入規制対応事業について質疑されました。

次に、第98号議案「令和4年度群馬県一般会計補正予算」に関して、畜産業における配合飼料の価格高騰対策などについて質疑され、県のさらなる支援策の検討についても要望されました。

また、小麦の生産体制の強化について質疑されました。

また、第91号議案「群馬県立森林公園の設置及び

管理に関する条例の一部を改正する条例」、第92号議案「群馬県畜産関係手数料条例の一部を改正する条例」及び承第2号「専決処分の承認について」についても、慎重に審査して採決した結果、本委員会に付託されました各議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

続いて、「降ひょう被害に対する支援の充実を求める決議」の発議についてですが、令和4年5月27日及び6月2日の降ひょうにより県東部及び西部地域の農作物に甚大な被害が発生したことから、支援の充実を図るよう強く要望するものであり、採決の結果、全会一致をもって本委員会から発議することに決定いたしました。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

まず、農政部関係では、

- ・持続的な水田農業の展開について
- ・農業分野における生産資材の価格高騰等の影響について
- ・環境保全型農業・有機農業の目標と現状等について
- ・野生イノシシの生息状況について
- ・県産農畜産物のブランド化に係る飲食店等との連携について
- ・5月27日及び6月2日の降ひょうによる農作物等の被害の状況について

次に、環境森林部関係では、

- ・令和4年度の指定管理者選定の実施方針について
- ・廃棄物・リサイクル行政について
- ・管理型最終処分場について
- ・1kmルールの見直しについて
- ・大同特殊鋼株式会社の最終処分場及び鉄鋼スラグについて
- ・東邦亜鉛株式会社の非鉄スラグについて
- ・田ノ郷川に放置された残土について
- ・森林環境譲与税の県内の活用状況について

- ・ごみ排出量について
  - ・県産木材の活用について
  - ・安中総合射撃場の整備状況について
  - ・プラスチック資源循環促進法について
  - ・PCB廃棄物の処分状況等について
  - ・桐生木材ヤードの活用状況と今後の取組について
- これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。
- 以上、申し上げまして委員長報告といたします。

## 産経土木常任委員会



### 委員長 泉沢 信哉

産経土木常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告を申し上げます。

はじめに、付託議案の審査についてであります。第86号議案「令和4年度群馬県一般会計補正予算」に関して、ウクライナからの避難民受入れの支援内容について質疑されました。

次に、第88号議案「令和4年度群馬県電気事業会計補正予算」に関して、四万発電所のリニューアルによる発電効率について質疑されました。

次に、第95号議案「和解について」に関して、県央ワクチン接種センター設置に係る損失補償金額の算定根拠について質疑されました。

次に、第98号議案「令和4年度群馬県一般会計補正予算」に関して、新ぐんまチャレンジ支援金の支給額の設定、対象事業の考え方、対象者の業種、審査業務等について質疑されました。

以上を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました各議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきましては、お手元に配付の報告書のとおりであります。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

まず、産業経済部関係では、

- ・ウィズコロナ時代における観光振興について
  - ・事業承継について
  - ・営業時間短縮要請協力金について
  - ・ぐんまちゃん家の今後の方向性について
  - ・愛郷ぐんまプロジェクトについて
  - ・ニューノーマル創出支援事業費補助金について
  - ・病気と仕事の両立支援について
  - ・県内企業のフレックスタイムの導入について
- 次に、企業局関係では、
- ・再生可能エネルギーの今後の取組について
  - ・市町村等に対する発電事業の技術支援について



- ・小水力発電の適地調査について
  - ・今後の県営ゴルフ場の方向性について
  - ・霧積発電所の進捗状況について
- 最後に、県土整備部関係では、
- ・県営住宅入居希望者の修繕待ちについて
  - ・建設現場の働き方改革、DXの推進について

- ・孺恋橋の橋台前面の斜面崩落について
- ・汚水処理計画の見直しについて
- ・古民家再生・活用推進事業について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

## 文教警察常任委員会



### 委員長 今泉 健司

文教警察常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告を申し上げます。

はじめに、付託議案の審査についてであります。第94号議案「動産の取得について」に関して、県立特別支援学校用に取得するICT機器に対する取得価格や納期の見通し、既に配備されているICT機器の活用の現状について質疑されるとともに、ICT機器の導入の効果が十分発揮されるよう、学校現場の教員をバックアップするよう要望されました。

次に、承第2号「専決処分の承認について」に関して、はじめに警察本部関係では、交通安全施設整備の具体的な内容や半導体不足の影響による工期の見通しについて質疑され、また、教育委員会関係では慎重審議されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託

されました各議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきましては、お手元に配付の報告書のとおりであります。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

はじめに、警察本部関係については、

- ・通学路の交通安全対策について
  - ・飲酒運転の発生状況と飲酒運転防止に向けた県警の取組について
  - ・可搬式速度違反自動取締装置による取締状況について
  - ・サイバーセンターにおける人材育成について
  - ・インターネット上における誹謗中傷事案等に関する相談状況と県警の取組について
  - ・鉄道施設や列車内における無差別殺傷事案対策について
  - ・特殊詐欺の県内の発生状況と県警の具体的な取組について
  - ・降ひょう被害に乗じた詐欺に対する注意喚起について
- 次に、教育委員会関係では、
- ・通常学級に通う特別な配慮を必要とする児童生徒をサポートする教員の対応状況について
  - ・特別な配慮を必要とする児童生徒への合理的配慮

- に係る事例のデータベース化について
- ・特別支援学校における強度行動障害がある児童生徒への支援について
- ・上毛学舎の入寮基準の現状について
- ・OECD の社会情動的スキルに関する調査（SSES）について
- ・本県の高等学校における日本語指導の状況について
- ・教員免許更新制の廃止への今後の対応について
- ・定年引上げに関する検討状況と課題について

- ・物価高騰に伴う給食費の状況について
  - ・降ひょうによる県内学校における被害状況及び復旧状況と見直しについて
  - ・医療的ケアが必要な児童生徒への支援について
  - ・子どものマスク着用に関する国からの通知の周知方法について
- これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

## 総務企画常任委員会



委員長 川野 達也

総務企画常任委員会に付託されました案件の審査経過と結果について、御報告申し上げます。

はじめに、付託議案についてであります。第86号議案「令和4年度群馬県一般会計補正予算」に関して、知事戦略部関係では、ウクライナ避難民の支援について、県立女子大学における対応や、受入れに当たっての市町村との連携が質されました。

次に、地域創生部関係では、地域おこし協力隊員募集・受入支援モデル事業に関して、市町村への支援について、当局の見解が質されるとともに、地域おこし協力隊の定着率などについて、質疑が行われ

ました。

次に、第98号議案「令和4年度群馬県一般会計補正予算」に関して、OECD の社会情動的スキルに関する調査について、学校現場における負担軽減に向けた当局の見解が質されるとともに、来年度の本調査に係る予算や実施校数、調査結果のフィードバックなどについて、質疑が行われました。

次に、承第2号「専決処分の承認について」に関しては、地域振興調整費及び地域公共事業調整費の執行状況について、質されました。

以上の点を踏まえ採決した結果、本委員会に付託されました各議案は、いずれも全会一致をもって、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

引き続き行いました請願の審査結果につきましては、お手元に配付の報告書のとおりであります。

続いて、「緊急事態に対する法令等の見直しを求める意見書」の発議についてであります。全国的な影響を及ぼす感染症や激甚化・頻発化する自然災害から、国民の命と生活を守るには、従来の法体系では対応できなくなるおそれがあるため、国において緊急時における法令等の整備について促進されるよう強く要望するものであり、採決の結果、全会一



致をもって、本委員会から発議することが決定いたしました。

このほか、委員会の所管事項について、各般の議論が行われましたので、以下、その主な項目について申し上げます。

まず、知事戦略部関係ですが、

- ・ 県庁32階官民共創スペース「NETSUGEN」の利用状況や今後の展開について
  - ・ ぐんまちゃんの利用許諾制度の円滑な運用や、ブランド化に関する取組について
- 次に、総務部関係では、
- ・ 県防災ヘリコプター事故現場までの登山ルートの整備状況について
  - ・ ガスバルク供給システムの普及について

- ・ セクハラ・パワハラ等の相談状況及び相談しやすい体制整備について

- ・ 市町村や民間との人事交流について

最後に地域創生部関係では、

- ・ 冬季国体の本県開催について

- ・ ぐんまちゃんをモチーフにした群馬県版図柄ナンバーについて

- ・ 障害者の芸術文化活動への支援について

- ・ スポーツイベント開催に当たっての県の支援について

これらの事項につきましても、活発な議論が行われました。

以上、申し上げまして委員長報告といたします。

## 議 案 審 議 状 況

第2回定例会において審議された議案の総件数は、知事提出議案が15件、委員会・議員提出議案が3件の計18件でした。

		5月24日提出	6月2日提出	6月15日提出	今期提出計	5月24日可決	6月2日可決	6月15日可決	今期可決計	今期否決計
知事提出	予 算 案	3	1		4			4	4	
	条 例 案	5			5			5	5	
	同 意	2	1		3	2	1		3	
	認 定									
	承 認	1			1			1	1	
	その他の議案	2			2			2	2	
	小 計	13	2		15	2	1	12	15	
委員会・議員提出	条 例 案									
	会 議 規 則 案									
	専決処分の指定									
	意 見 書 案			1	1			1	1	
	決 議 案			1	1			1	1	
	要 望 書 案									
	その他の議案	1			1	1			1	
小 計	1		2	3	1		2	3		
合 計		14	2	2	18	3	1	14	18	

## 第2回定例会議決事件概要及び結果

### ○知事提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
86	令和4年度群馬県一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出増額 1,290,952千円 歳入歳出総額 819,996,952千円	賛成(自)	全会一致 可決
87	令和4年度群馬県流域下水道事業会計補正予算(第1号)	債務負担行為 1件	賛成(自)	全会一致 可決
88	令和4年度群馬県電気事業会計補正予算(第1号)	債務負担行為 1件	賛成(自)	全会一致 可決
89	群馬県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	ガス事業法及びガス事業法施行令の改正に伴うもの	賛成(自)	全会一致 可決
90	群馬県県税条例の一部を改正する条例	地方税法の改正に伴う改正等を行おうとするもの	反対(共) 賛成(自)	多数可決 (共反対)
91	群馬県立森林公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	憩の森及びおうらの森の県立森林公園への位置付け等を行おうとするもの	賛成(自)	全会一致 可決
92	群馬県畜産関係手数料条例の一部を改正する条例	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の改正に伴うもの	賛成(自)	全会一致 可決
93	群馬県長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例	長期優良住宅の普及の促進に関する法律の改正に伴うもの	賛成(自)	全会一致 可決
94	動産の取得について	県立特別支援学校用 ICT 機器	賛成(自)	全会一致 可決
95	和解について	県央ワクチン接種センター設置に係る損失補償	賛成(自)	全会一致 可決
96	監査委員の選任について	議会の議員のうちから選任した監査委員岸善一郎氏は、令和4年5月23日に辞任したため、金井康夫氏を後任者に選任する。		多数同意 (共反対)
97	監査委員の選任について	議会の議員のうちから選任した監査委員井下泰伸氏は、令和4年5月23日に辞任したため、安孫子哲氏を後任者に選任する。		多数同意 (共反対)
承第2号	専決処分承認について	1. 令和3年度群馬県一般会計補正予算(第19号) 2. 令和3年度群馬県農業改良資金特別会計補正予算(第1号) 3. 令和3年度群馬県県有模範林施設費特別会計補正予算(第2号) 4. 令和3年度群馬県小規模企業者等設備導入資金助成費特別会計補正予算(第1号)	反対(共) 賛成(自)	多数承認 (共反対)

番号	件名	概要	討論	議決の態様
		5. 令和3年度群馬県収入証紙特別会計補正予算(第1号) 6. 令和3年度群馬県林業改善資金特別会計補正予算(第1号) 7. 令和3年度群馬県公債管理特別会計補正予算(第2号) 8. 令和3年度群馬県中小企業振興資金特別会計補正予算(第3号) 9. 令和3年度群馬県新エネルギー特別会計補正予算(第1号) 10. 令和3年度群馬県国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 11. 令和3年度群馬県流域下水道事業会計補正予算(第3号) 12. 令和3年度群馬県電気事業会計補正予算(第4号) 13. 令和3年度群馬県工業用水道事業会計補正予算(第3号) 14. 令和3年度群馬県水道事業会計補正予算(第3号) 15. 令和3年度群馬県団地造成事業会計補正予算(第3号) 16. 令和3年度群馬県施設管理事業会計補正予算(第3号) 17. 群馬県県税条例等の一部を改正する条例 18. 群馬県地方活力向上地域における県税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例 19. 地方財政法第27条の規定による市の負担の変更について 20. 下水道法第31条の2の規定による市町村の負担の変更について 21. 下水道法第31条の2の規定による市町村の負担の変更について		

○令和4年6月2日 追加提出議案

番号	件名	概要	討論	議決の態様
98	令和4年度群馬県一般会計補正予算(第1号・追加提案分)	歳入歳出増額 3,080,405千円 歳入歳出総額 823,077,357千円	賛成(自)	全会一致 可決
99	人事委員会委員の選任について	人事委員会委員石川直美氏は、令和4年6月12日をもってその任期を満了するので、石川直美氏を後任者に選任する。		全会一致 同意

※自=自由民主党、共=日本共産党の略です。





○委員会提出議案

○5月24日提出

番号	件名	提出委員会・発議者	討論	議決の態様
議4	特別委員会の設置について	議会運営委員会		全会一致 可決

○6月15日提出

番号	件名	提出委員会・発議者	討論	議決の態様
議5	降ひょう被害に対する支援の充実を求める決議	環境農林常任委員会		全会一致 可決
議6	緊急事態に対する法令等の見直しを求める意見書	総務企画常任委員会	反対(共)	多数可決 (共反対)

※共＝日本共産党の略です。





## 可決された委員会提出議案

議第5号議案

### 降ひょう被害に対する支援の充実を求める決議

5月27日の降ひょうにより、県東部地域では麦類の被害が甚大なものとなっているほか、農業用施設が破損する被害が発生している。その後、6月2日には県西部地域においても降ひょうによって、ウメ等の農作物に被害が及んでいる。度重なる降ひょう被害による営農意欲の低下が危惧されるところである。

ついては、降ひょう被害に対して、下記のとおり支援の充実を図るよう強く要望する。

#### 記

- 1 被害状況を速やかに把握するとともに、県農漁業災害対策特別措置条例に基づき、早期に被災農業者へ肥料・防除薬剤等のかかり増し経費が助成されるよう、市町村と連携し、速やかな事務を進めること。
- 2 被害を最小限に抑え、今後の栽培に影響が出ないよう、個々の農業者の状況に合わせた支援を徹底するとともに、農業用施設の修繕に係る資材等の確保など、経営再建に向けた支援を講じること。
- 3 施設の被害や農業者の収入を補填する農業共済・収入保険等のセーフティネットへの加入促進を図ること。

以上、決議する。

令和4年6月15日

群馬県議会

## 緊急事態に対する法令等の見直しを求める意見書

新型コロナウイルス感染症は、既に2年以上に渡り国民の日常生活、社会経済活動に多大な影響を及ぼしている。

全国で新規感染者数が減少傾向にあるものの、今なお感染収束の見通しは立っておらず、保健医療体制の厳しい状況が続いている。

また、度重なる緊急事態宣言等の発出等による経済活動の停滞は、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の経営や雇用に計り知れない打撃を与えている。

一方、近年自然災害は激甚化・頻発化しており、突然の集中豪雨等により各地が甚大な被害に見舞われている。加えて、今後30年以内に高い確率で「南海トラフ巨大地震」や「首都直下地震」の発生が予想されており、甚大な被害が危惧されている。

わが国はこれまで、感染症の拡大や大規模自然災害に対して、新型インフルエンザ等対策特別措置法や災害対策基本法などにより対処してきたが、今後、より重大な緊急事態が発生した場合は、従来の法体系では対応できなくなるおそれがある。

感染症は全国的に影響を及ぼし、巨大地震や豪雨災害などの自然災害はどこの自治体でも被災地となりえる状況で、こうした感染症や自然災害に強い社会をつくっていくことが全国的な喫緊の課題となっている。

緊急事態において国民の命と生活を守るため、法令等のあり方について、多岐にわたる論点を整理し、国民に分かりやすく提示し、国民との対話によって理解を広め、法令等の整備を促進する取組が必要である。

よって国においては、緊急時における法令等の整備について、促進されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年6月15日

群馬県議会議長 星 名 建 市

衆 参 内 総 法 厚 経 国 防 内 閣	議 議 閣	総 務 省	院 理 大 大 大 大 房 大 臣 大臣(経済財政政策)	議 議 大 大 大 大 長 大臣(防災)	長 長 臣 臣 臣 臣 臣 官	あ て	
							生 産 交 官 官 特 命 担 当 大 臣
							衛 生 交 通 大 房 大 臣
							内 閣 府 特 命 担 当 大 臣




**請願の委員会別審査状況**


○総務企画常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採択	不採択	継続	
23	国に米軍基地負担の軽減と日米地位協定の抜本改定を求める請願			○	

○健康福祉常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採択	不採択	継続	
厚文第5号	保育の充実を求める請願			○	(多数をもって決定)
厚文第12号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の充実を求める意見書の提出についての請願			○	”
2	教育格差をなくし、ぐんまの子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願〈2項3号〉			○	”

○産経土木常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採択	不採択	継続	
8	吉岡町と渋川市を結ぶ道路整備についての請願			○	
9	県道前橋長瀬線柳瀬橋における渋滞緩和についての請願			○	
22	中心市街地活性化対策等の拡充と街なか居住の推進についての請願			○	
24	市街地再開発事業の更なる推進についての請願			○	
28	「全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願			○	
30	小企業・小規模事業者の経営支援を求める請願			○	
36	東北自動車道館林インターチェンジへの接続道路整備についての請願			○	

○文教警察常任委員会

番 号	件 名	区 分			意 見
		採 択	不採 択	継 続	
1	学校給食費の無料化を求める請願			○	
4	公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入するための条例制定に反対する請願			○	
11	教育格差をなくし、ぐんまの子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願（1項、2項1号・2号・4号・5号、3項）			○	

## 閉会中継続審査（調査）特定事件

（令和4年第2回定例会）

### ○総務企画常任委員会

第23号 国に米軍基地負担の軽減と日米地位協定の抜本改定を求める請願

- 1 新たな重要施策の企画・立案について
- 2 情報発信について
- 3 デジタル技術の利活用の推進について
- 4 グリーンイノベーションの推進について
- 5 地域外交について
- 6 総合行政の推進について
- 7 自主財源の伸長について
- 8 公有財産の維持管理について
- 9 危機管理・防災対策について
- 10 市町村の振興について
- 11 地域振興について
- 12 移住、定住及び外国人活躍推進について
- 13 芸術文化の振興と文化づくりの推進について
- 14 スポーツの振興について

### ○健康福祉常任委員会

厚文第5号 保育の充実を求める請願

厚文第12号 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の充実を求める意見書の提出についての請願

第2号 教育格差をなくし、ぐんまの子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願〈2項3号〉

- 1 県民生活・消費者行政・県民防犯の推進について
- 2 県民の自発的な活動との連携について
- 3 人権・男女共同参画政策の推進について
- 4 私学振興・児童福祉について
- 5 少子化対策・青少年健全育成の推進について
- 6 保健・医療・福祉の総合調整について

7 社会福祉・社会保障の充実について

8 保健医療対策の充実について

9 食品の安全確保・安心の提供について

10 生活衛生対策の充実について

11 県立病院の充実について

### ○環境農林常任委員会

1 環境対策について

2 林業振興対策について

3 食料・農業・農村振興対策について

4 農林漁業災害対策について

### ○産経土木常任委員会

第8号 吉岡町と渋川市を結ぶ道路整備についての請願

第9号 県道前橋長瀬線柳瀬橋における渋滞緩和についての請願

第22号 中心市街地活性化対策等の拡充と街なか居住の推進についての請願

第24号 市街地再開発事業の更なる推進についての請願

第28号 「全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願

第30号 小企業・小規模事業者の経営支援を求める請願

第36号 東北自動車道館林インターチェンジへの接続道路整備についての請願

1 中小企業の振興について

2 企業誘致の推進について

3 観光物産の振興について

4 労働者支援と労働環境整備について

5 雇用対策の推進について

- 6 MICE 推進・イベント産業の振興について
- 7 コンテンツ産業の振興について
- 8 道路・橋梁の整備促進について
- 9 交通対策について
- 10 河川・砂防対策の促進について
- 11 ハッ場ダム周辺地域の生活再建について
- 12 都市計画・建築・住宅・下水対策について
- 13 災害復旧対策について
- 14 公営企業の推進について

境に関すること

#### ○子育て・障害者支援に関する特別委員会

- 1 ヤングケアラーに関すること
- 2 子育て支援に関すること
- 3 少子化対策に関すること
- 4 教育イノベーションに関すること
- 5 障害者の雇用・就労支援、農福連携に関する  
こと
- 6 障害者の芸術文化活動に関すること

#### ○文教警察常任委員会

- 第1号 学校給食費の無料化を求める請願
- 第4号 公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入するための条例制定に反対する請願
- 第11号 教育格差をなくし、ぐんまの子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願〈1項、2項1号・2号・4号・5号、3項〉

- 1 教育施設の整備促進について
- 2 教育体制の確立について
- 3 社会教育の推進について
- 4 学校体育・保健について
- 5 警察体制の確立について
- 6 警察署等の整備促進について
- 7 交通事故防止対策について
- 8 災害救助対策について
- 9 高齢者犯罪対策について

#### ○環境・エネルギー対策特別委員会

- 1 グリーンイノベーションに関すること
- 2 再生可能エネルギーに関すること
- 3 脱炭素化に関すること
- 4 ぐんま5つのゼロ宣言に関すること
- 5 本県の再生可能エネルギーを活用した企業誘致に関すること

#### ○地域活性化・魅力発信に関する特別委員会

- 1 移住促進に関すること
- 2 リトリート推進に関すること
- 3 ぐんまの魅力ある観光地づくりに関すること
- 4 多様な移動手段、MaaSに関すること
- 5 デジタル田園都市構想に関すること
- 6 ぐんまの魅力発信に関すること

#### ○新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

- 1 新型コロナウイルス感染症に係る「社会経済活動再開に向けたガイドライン」等に関する  
こと
- 2 新型コロナウイルス感染症関連の経済対策に  
関すること
- 3 新型コロナウイルス感染症の相談・検査・医  
療体制に関すること
- 4 新型コロナウイルス感染症対策に係る教育環

#### ○議会運営委員会

- 1 定例会・臨時会の開催に関すること
- 2 会期に関すること
- 3 会議における質問者の数、時間及び順序並び  
に緊急質問に関すること
- 4 委員その他役員の各党派又は会派の割り振り  
に関すること
- 5 常任委員会の調査に関すること
- 6 特別委員会の設置及び廃止に関すること
- 7 議長の諮問に関すること
- 8 その他議会運営上必要とする事項に関する  
こと

## 委 員 会 委 員 名 簿

(令和4年6月15日現在)

委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務企画常任委員会 (10人)	川野辺達也 (自)	森 昌彦 (自)	井田 泉 (自) 安孫子 哲 (自) 小川 晶 (リ) 井田泰彦 (令) 神田和生 (自) 追川徳信 (友) (欠員2名)
健康福祉常任委員会 (10人)	穂積昌信 (自)	相沢崇文 (自)	久保田順一郎 (自) 水野俊雄 (公) 中島 篤 (自) あべともよ (令) 酒井宏明 (共) 松本基志 (自) 八木田恭之 (リ) (欠員1名)
環境農林常任委員会 (10人)	岸 善一郎 (自)	高井俊一郎 (自)	狩野浩志 (自) 伊藤祐司 (共) 萩原 渉 (自) 金井康夫 (自) 加賀谷富士子 (リ) 入内島道隆 (如) 亀山貴史 (自) (欠員1名)
産経土木常任委員会 (10人)	泉沢信哉 (自)	斉藤 優 (自)	中沢丈一 (自) 星野 寛 (自) 金子 渡 (令) 伊藤 清 (自) 矢野英司 (新) 秋山健太郎 (自) 鈴木敦子 (リ) (欠員1名)
文教警察常任委員会 (10人)	今泉健司 (自)	大林裕子 (自)	橋爪洋介 (自) 後藤克己 (リ) 井下泰伸 (自) 薬丸 潔 (公) 大和 勲 (自) 本郷高明 (リ) 金沢充隆 (令) 牛木 義 (自)
議会運営委員会 (13人)	井田 泉 (自)	今泉健司 (自)	星野 寛 (自) 狩野浩志 (自) 後藤克己 (リ) 中島 篤 (自) 金子 渡 (令) 小川 晶 (リ) 伊藤 清 (自) 大和 勲 (自) 穂積昌信 (自) 森 昌彦 (自) 高井俊一郎 (自)
新型コロナウイルス 感染症対策特別委員会 (11人)	狩野浩志 (自)	秋山健太郎 (自)	薬丸 潔 (公) 川野辺達也 (自) 本郷高明 (リ) 穂積昌信 (自) 井田泰彦 (令) 加賀谷富士子 (リ) 今泉健司 (自) 松本基志 (自) 矢野英司 (新)
子育て・障害者支援 に関する特別委員会 (11人)	橋爪洋介 (自)	亀山貴史 (自)	伊藤祐司 (共) 中島 篤 (自) 小川 晶 (リ) 大和 勲 (自) 泉沢信哉 (自) 大林裕子 (自) 高井俊一郎 (自) 金沢充隆 (令) 鈴木敦子 (リ)
環境・エネルギー 対策特別委員会 (11人)	久保田順一郎 (自)	牛木 義 (自)	中沢丈一 (自) 井田 泉 (自) 萩原 渉 (自) 金井康夫 (自) 金子 渡 (令) 森 昌彦 (自) 八木田恭之 (リ) 入内島道隆 (如) 追川徳信 (友)
地域活性化・魅力発信 に関する特別委員会 (11人)	星野 寛 (自)	神田和生 (自)	水野俊雄 (公) 後藤克己 (リ) あべともよ (令) 岸 善一郎 (自) 酒井宏明 (共) 安孫子 哲 (自) 伊藤 清 (自) 斉藤 優 (自) 相沢崇文 (自)
図書広報委員会 (10人)	萩原 渉 (自)	松本基志 (自)	酒井宏明 (共) 薬丸 潔 (公) 大林裕子 (自) 神田和生 (自) 金沢充隆 (令) 秋山健太郎 (自) 牛木 義 (自) 鈴木敦子 (リ)
基本条例推進委員会 (12人)	岸 善一郎 (自)	斉藤 優 (自)	中島 篤 (自) 金子 渡 (令) 伊藤 清 (自) 大和 勲 (自) 本郷高明 (リ) 穂積昌信 (自) 今泉健司 (自) 八木田恭之 (リ) 相沢崇文 (自) 亀山貴史 (自)

※ (自) は自由民主党、(リ) はリベラル群馬、(令) は令明、(公) は公明党、(共) は日本共産党、(新) は新時代、(如) は如水会、(友) は友信会を表します。

※委員会名欄の ( ) 内の数字は、定数を表します。



# 議 席 一 覧 表

(令和4年6月15日現在)

E 列

1	2

	狩 野 浩 志	星 野 寛	久 保 田 順 一 郎	中 沢 丈 一
3	4	5	6	7

8	9

D 列

			萩 原 渉
1	2	3	4

中 島 篤	井 田 泉	星 名 建 市	橋 爪 洋 介	水 野 俊 雄
5	6	7	8	9

あ べ と も よ	後 藤 克 己	伊 藤 祐 司	
10	11	12	13

C 列

		穂 積 昌 信	川 野 辺 達 也	大 和 勲
1	2	3	4	5

安 孫 子 哲	金 井 康 夫	井 下 泰 伸	岸 善 一 郎	薬 丸 潔
6	7	8	9	10

金 子 渡	小 川 晶	酒 井 宏 明		
11	12	13	14	15

B 列

		相 沢 崇 文	高 井 俊 一 郎	森 昌 彦
1	2	3	4	5

斉 藤 優	松 本 基 志	今 泉 健 司	泉 沢 信 哉	伊 藤 清
6	7	8	9	10

井 田 泰 彦	加 賀 谷 富 士 子	本 郷 高 明		
11	12	13	14	15

A 列

	大 林 裕 子	牛 木 義	秋 山 健 太 郎
1	2	3	4

亀 山 貴 史	神 田 和 生	追 川 徳 信	矢 野 英 司	入 内 島 道 隆
5	6	7	8	9

金 沢 充 隆	鈴 木 敦 子	八 木 田 恭 之	
10	11	12	13

## 演 壇

※質疑及び一般質問日（5月30日、31日、6月2日）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議員が1席ずつ間を空けて座るとともに、2班に分け、午前と午後で交互に議場に入った。

## 議長閉会のあいさつ

議長 星名建市

閉会に当たり、ごあいさつを申し上げます。

5月24日に開会した今期定例会は、ただ今をもちまして、上程された全ての案件を議了し、ここに閉会の運びとなりました。

議員各位をはじめ、執行部並びに報道機関の皆さまの御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、今期定例会開会後の5月27日及び6月2日、県内は二度の「降ひょう」に見舞われ、県東部及び西部地域において、人的被害、住家・非住家被害のほか、幅広い品種の農作物被害や農業用施設被害など、多方面にわたる甚大な被害が発生いたしました。被害に遭われた県民の皆さまに対し、改めてお見舞い申し上げます。

県議会では、「降ひょう被害に対する支援の充実を求める決議」を可決し、県執行部に対し、被害状況の速やかな把握と被災農業者に対する迅速な支援を要望したほか、今後もしばらくの被害の補填と支援に向け、全力で取り組んでまいり所存であります。

一方、県内の新型コロナウイルス感染症の状況については、このところ「一日当たりの新規感染者数」や「病床利用率」をはじめとして、ほとんどの指標で改善傾向が見られておりますが、依然として1日に100人を上回るレベルの新規感染者が確認されていることもあり、引き続き基本的な感染防止対策の徹底が求められているところであります。

県議会といたしましても、各党会派の協力のもと、引き続き、感染拡大に歯止めをかけるための対策や、3回目、4回目のワクチン接種の促進、医療提供体制の整備を進めるとともに、力強い経済の再生とさらなる飛躍に向け、県執行部並びに関係機関との連携を図りながら、全力で取り組んでまいります。

さて、今期定例会では、新型コロナウイルスとの長期戦に備えるための各種施策や、コロナ禍において原油価格・物価高騰等の影響を受けた生活者、事業者を支援するための各種施策を盛り込んだ令和4年度補正予算が議決となったほか、県立森林公園の設置及び管理に関する条例の改正など、県政全般にわたり活発な議論が交わされました。

また、国の各機関に対し、感染症や自然災害などの緊急時における法令等の整備を求める「緊急事態に対する法令等の見直しを求める意見書」を提出する運びとなり、前述の「降ひょう被害に対する支援の充実を求める決議」も可決されました。

他方、県政が直面する重要な課題に対応するため、「新型コロナウイルス感染症対策」、「子育て・障害者支援」、「環境・エネルギー対策」、「地域活性化・魅力発信」に関する4つの特別委員会が新たに設置され、早速、活発な議論が展開されることとなりました。

県議会といたしましては、今後も県の施策に対する提言を積極的に行うとともに、議員ひとりひとりが高い使命感と強い責任感を持って自己研鑽に精励し、県民の誰もが安心して暮らせる豊かな群馬の創造に向けて不断の努力を続けてまいり所存であります。

梅雨入りしたとは申せ、例年にも増してぐずついた天気となる日が続いております。

議員各位におかれましては、閉会後の委員会調査をはじめ、時節柄御多忙のことと存じますが、健康には十分に御留意いただきますとともに、引き続き本県の発展のため御活躍をされますことを祈念申し上げまして、閉会のあいさついたします。

# 委員会活動

## 県内調査

### 総務企画常任委員会



群馬県立歴史博物館

- 1 期 日 令和4年4月15日(金)
- 2 開催場所 ◎群馬県立歴史博物館（高崎市）  
◎観音山古墳（高崎市）
- 3 出席委員 穂積委員長、亀山副委員長、  
久保田、伊藤（祐）、後藤、岸、  
安孫子、斉藤、大林の各委員

#### 4 調査の概要

##### ◎群馬県立歴史博物館（高崎市）

歴史博物館は、昭和54年に開館し、平成26年から大規模な改修工事を行った後、平成28年7月にリニューアルオープンした。国宝「群馬県綿貫観音山古墳出土品」を展示する国宝展示室をはじめ、原始から近現代に至る群馬県の歴史や文化の特色について、実物資料を中心に映像・模型などを用いて紹介している。

また、令和2年8月には文化観光推進法に基づき、「群馬県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画」が大臣認定を受け、令和3年度には、最新のデジタル技術を導入した「デジタル<sup>はにわ</sup>埴輪展示室」を新設した。

については、今後の芸術文化の振興と文化づくり推進の参考とするため、歴史博物館の調査を行った。

##### (1) 概要説明

- ア 説明会場  
群馬県立歴史博物館 視聴覚室
- イ 説明者及び出席者  
歴史博物館特別館長、歴史博物館館長、  
地域創生部長、地域創生課長、文化振興課長

## ウ 説明内容

- ・歴史博物館の概要について  
資料「歴史博物館概要説明」により、施設概要、国宝展示室・デジタル埴輪展示室を説明。



概要説明の様子

## (2) 視察の状況



館内見学の様子（国宝展示室）



館内見学の様子（デジタル埴輪展示室）

## 【主な質疑】

問：埴輪は古墳の被葬者の生前の姿を模しているとのことだが、埴輪を見るに当たり順番はあるのか。

答：埴輪は時系列で配置されたものではないが、多数の馬を所有するなど生前の豊かな財力を示すために設置されたものと考えられている。

問：埴輪の製造場所は藤岡と聞いているがどうか。

答：県内の主な埴輪の製造場所は藤岡並びに太田であったことが、これまでの調査で判明しており、観音山古墳の埴輪は藤岡で作られたものとされている。

問：観音山古墳の発掘調査当時の様子はどうかであったか。

答：当時はかなり崩れた状態であったものを昭和40年代から整備を行い、現在は県文化財保護課が委託する地元の団体の方々の御努力により、良好な状態を維持している。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

## 【所感・意見・感想など】

### ○後藤委員

これまで歴史や考古学の社会教育機関という位置付けであった当館も、時代の流れや県の施策方針に合わせ、国宝展示室やデジタル展示室といったリニューアルを通じ、県のブランド力向上や観光資源としての特色を打ち出そうという意欲を感じた。

今後も、「分かる人に刺さる」研究機関としての深みを維持しつつ、知識・関心の浅い層にも身近に感じられるような工夫を重ね、良い意味であか抜けた施設に進化することを期待する。

### ○安孫子委員

歴史博物館は、平成28年7月にリニューアルオープンし、国宝「群馬県綿貫観音山古墳出土品」を展示する国宝展示室をはじめ、原始から近代に至る群馬県の歴史や文化の特色について、実物資料を中心に映像や模型などを用いて紹介している。

また、令和3年度には最新のデジタル技術を導入した「デジタル埴輪展示室」が新設され、子どもから大人まで詳しく学べ、楽しむことのできる施設に変わった。私も見て触れて楽しく学ばせていただいた。

### ◎観音山古墳（高崎市）

観音山古墳は、高崎市綿貫町に位置する6世紀後半に造られた墳丘長約97mの前方後円墳であり、この時期に造られた古墳としては、県内で最大級に属している。昭和43年に行われた発掘調査では、未盗掘であった横穴式石室から大量の副葬品が出土し、埴輪や副葬品などの出土品は、令和2年9月に国宝に指定された。

また、観音山古墳の現地は、昭和48年に国史跡に指定され、県により整備、公開されており、石室の見学等が行われているほか、VRアプリにより、築造当時の埴輪配列を体感することができる。

については、今後の芸術文化の振興と文化づくり推進の参考とするため、観音山古墳の調査を行った。

#### (1) 概要説明

##### ア 説明会場

観音山古墳敷地内東屋

##### イ 説明者及び出席者

文化振興課歴史文化遺産室長、地域創生部長、地域創生課長、文化振興課長、文化財保護課長

##### ウ 説明内容

- ・観音山古墳 VR 事業の概要について  
資料「史跡 観音山遺跡」等によりを説明。

#### (2) 視察の状況



観音山古墳で石室の説明を受ける様子

#### 【所感・意見・感想など】

##### ○後藤委員

当古墳と歴史博物館の国宝展示室と併せて鑑賞することにより、「西の藤ノ木、東の観音山」と称されるほどに歴史的価値の高い古墳であること、さらにはこの地域の先進性について発見と理解が深まるのではないかと感じた。

##### ○安孫子委員

県内で最大級の観音山古墳は、高崎市綿貫町に位置する6世紀後半に造られた墳丘長約97mの前方後円墳で、その迫力は一見の価値がある。

また、画期的な取組として、築造当時の埴輪配列をVRアプリで体感できたり、石室の中に入り見学ができる仕組みは高く評価したい。

終わりに、県の施設や古墳をはじめとしたさまざまな文化に、県内の方はもとより県外からもたくさんの方が見学や観光の一環として訪れてもらえることを願っている。



## 健康福祉常任委員会



社会福祉法人みどの福祉会

1 期 日 令和4年4月20日(水)

2 開催場所 ◎社会福祉法人みどの福祉会（高崎市）

3 出席委員 泉沢委員長、秋山副委員長、  
星名、井下、酒井、金子、薬丸、  
本郷、森の各委員

#### 4 調査の概要

##### ◎社会福祉法人みどの福祉会（高崎市）

社会福祉法人みどの福祉会は、昭和57年2月に宗教法人常泉寺新町保育園を引き継ぐ形で発足し、平成30年に陸上自衛隊新町駐屯地に隣接する現在地に移転した。

当該法人は、保育園事業でスタートした後、高齢者介護事業のデイサービスや居宅サービスのほか、フードバンクや制服バンク、子ども食堂「まんまる食事会」及び子どもの学習支援「みどの学習支援」など幅広く地域の子育て支援活動にも取り組んでいる。

ついては、子どもの居場所づくりの充実の観点から、社会福祉法人みどの福祉会の取組の現状について調査を行った。

#### (1) 概要説明

##### ア 説明会場

社会福祉法人みどの福祉会

##### イ 説明者及び出席者

社会福祉法人みどの福祉会 理事長

社会福祉法人みどの福祉会 地域貢献事業部  
代表

(県側出席者)

生活こども部長、生活こども部副部長、

私学・子育て支援課長

##### ウ 説明内容

・社会福祉法人みどの福祉会の事業内容について

・子どもの学習支援「みどの学習支援」について

・子ども食堂「まんまる食事会」について

・フードバンクについて 等

※配布資料及びスクリーンに投影した資料により説明



概要説明の様子

## (2) 視察の状況



質疑の様子

### 【主な質疑】

問：フードドライブを継続することは大変だと思うが、継続する上で工夫している点は何か。

答：7年間やっているが、1年目、2年目がうまくいかなかったとしても、3年目、4年目と継続していくと応援してくれる企業が増え、定期的に食料が集まるようになる。大学生や高校生も協力してくれており、周知することには努力している。

問：相対的貧困を見つけやすくする方法及び自己肯定感を高めるための方法について、考えをお伺いしたい。

答：民生委員には貧困は見えにくいということに留意をして、地域を回っていただきたい。スクールソーシャルワーカーや学校の先生など、子どもに直接関わっている方にも、貧困の実態を理

解していただき、相対的貧困という視点を持って、子どもに接していただくことが必要と感じている。スクールソーシャルワーカーは特に家庭訪問を行うので、家庭の中で見たことは学校に報告してほしい。自己肯定感を高めるためには、子どもたちが認められる場所が多ければ多いほどよいと思うので、子ども食堂などは第三の居場所とも言われているが、自己肯定感が高められるような役割を果たせたらと考えている。

問：外国籍の方への支援はどうか。

答：新町では外国籍の方は少ない。食料等を取りに来たことはある。

問：フードバンクは、子どもの貧困からいろいろな問題が派生し、それをつなげていくうちに、活動が大きくなっているように感じている。今後どのような広がりになると考えるか。

答：フードバンクのあり方は、全国的に混乱している。フードバンクのあり方について仲間と議論したいと思っている。

問：本当に困っている方への支援について、どのような方法で支援を行っているか。

答：食料配布会、フードパントリーと呼んでいるが、そこではシングル家庭だけに限定している。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

### 【所感・意見・感想など】

#### ○井下委員

当該法人は、保育事業で発足し、高齢者介護事業のデイサービスや居宅サービスのほか、フードバンクや制服バンク、子ども食堂「まん丸食堂」、及び子どもの学習支援「みどの学習支援」など幅広く地域の子育て支援活動に取り組んでいる。

社会福祉法人みどの福祉会の代表が懸念するのは、子どもをめぐる状況の悪化。特に子どもの貧困は深刻であり、7人に1人は見えにくい相対的貧困に陥っている。

子どもたちは、こうした隠れた貧困の中で、友達



とのつながりや夢をあきらめ、実体験が少ないことから結果的に自己肯定感が低くなりがちである。

こうした状況に対して、みどの福祉会が立ち上げた地域貢献事業を調査したが、大切なこととして、相対的貧困を見ようとする視点を示唆していただいた。

問題解決に向けて、我々がまず持つべきは、この視点と視座であり、こうした個々の事業を地域や企業と結び付けネットワーク化することが、問題の解決に向けた取組の効果を上げることにつながると感じた。

子どもたちの居場所づくりのための子ども食堂や、フードバンク、フードドライブ事業を今後も注視していきたい。

#### ○薬丸委員

令和4年4月20日、健康福祉常任委員会の県内調

査で、高崎市新町にある社会福祉法人みどの福祉会を調査し、活動内容などを伺って来た。みどの福祉会は「地域の子ども・高齢者とその家族の幸せを守り、さらにそれを強める」との法人理念のもと、高齢者施設やこども園の運営のほか、子どもの無料学習支援や子ども食堂、フードバンクなど、幅広く地域貢献活動に取り組んでいる。

調査の際の説明では、母親が蒸発してしまい、子育てをしている子どもや、朝に食事をすることを高校生になって初めて知った子どもがいることなどを事例として御説明いただき、ヤングケアラーや相対的貧困の実情が想像以上の状態にある点に驚きを隠せなかった。

今後、子どもの相対的貧困やヤングケアラーへの対策を講じる際には、こうした子どもたちへの支援を行う団体とより密に連携し、意見を十分に伺わなければならないことを痛感した。

## 産経土木常任委員会



tsukurun — GUNMA CREATIVE FACTORY —

- 1 期 日 令和4年4月20日(水)
- 2 開催場所 ①株式会社翔栄（伊勢崎市）  
ツクルン  
②tsukurun — GUNMA CREATIVE  
FACTORY —（前橋市）
- 3 出席委員 大和委員長、松本副委員長、  
水野、萩原、川野辺、八木田、  
入内島、高井、金沢の各委員

#### 4 調査の概要

##### ①株式会社翔栄（伊勢崎市）

株式会社翔栄は、昭和57年3月に伊勢崎市大正寺町で創業。昭和63年に液晶パネル製造を開始し、平成13年にはタッチパネルの製造を開始した。

以降、車載向けタッチパネルやモバイル用タッチパネル等の製造を中心事業としている。

また、令和3年5月には、新型コロナウイルス感染症対策として必需品となった不織布マスクの製造を開始し、群馬県マスク地産地消推進プロジェクトの製造事業者として参加している。

については、県内ものづくり企業の現状と取組について調査を行った。

#### (1) 概要説明

- ア 説明会場  
株式会社翔栄 本社・さんわ工場会議室
- イ 説明者及び出席者  
株式会社翔栄 堀川取締役ほか  
(県側出席者)  
産業経済部長、産業政策課産業戦略室長
- ウ 説明内容  
説明資料により、企業概要や製品について説明。



概要説明の様子

## (2) 視察の状況



製品について説明を受ける様子

### 【主な質疑】

問：半導体不足や新型コロナ、紛争など諸情勢の影響はどうか。

答：製品出荷の6割がヨーロッパ向けであり、空輸の費用が増加している。また、製品の98%が自動車関連であるため、ほかの産業分野への活用にも取り組んでいる。

問：円安が進んでいるが追い風になっているか。

答：海外輸出が多く、売上げの半分程度がドル取引である。海外から購入するものもあるが割合は少ない。全体的にみて有利であると言える。

問：太田市にSUBARUの生産拠点があり、部品供給メーカーも県内に集積しているが、このことは翔栄にとって生かせていけるか。

答：取引先としては、パナソニックや三菱などのメーカーに部品を納品しており、直接SUBARUに納品しているものはないが、取引メーカーからSUBARUに納品されているものはある。

問：マスク生産参入への思いはどうか。

答：中国製のマスクの品質をみて、もっと良いものができるのではないかと思った。タッチパネルで取引のあったグンゼやTEIJINを通じてマスク繊維の取引ができたことやクリーンルームを活用できたこともあり、マスク生産を開始できた。また、販路がネックであったが県と相談

し、支援していただいた。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

### 【所感・意見・感想など】

#### ○水野委員

株式会社翔栄様は、伊勢崎市三和町に本社を構え、群馬県優良企業表彰を受賞した群馬県を代表する製造業者である。最近では、県民の命と健康を守るため、群馬県産不織布マスクを製造するなど地域貢献も果たしている。

主力製品のタッチパネルは、カーナビ用に多く用いられ、取引先メーカーの要求に応じて精度の高い製品を作り出しているほか、最近ではヘッドアップディスプレイの部品や自動運転車輛のセンサー用ミラーなど、最先端の自動車部品の開発・製造に取り組まれ、海外メーカーとも多く取引されている。

製品の6割が欧州へ出荷されるため、パンデミックや半導体不足、ロシアによるウクライナ侵攻と物価高、円安など激変する国際情勢の影響を大きく受けつつも、製品の用途拡大など対策に取り組んでいるとのこと。

衛生用品である不織布マスクの製造を、3カ月という短期間で量産化できたのも、最先端の物づくり技術の蓄積があったからこそと実感でき、改めてこれまでの企業努力に敬意を表するとともに、今後ますますの発展を期待したい。

県内企業の振興にかかる政策立案に、非常に参考になる有意義な視察であり、受け入れていただいた株式会社翔栄様や準備に当たったスタッフに、心から感謝申し上げる。

#### ◎ tsukurun — GUNMA CREATIVE FACTORY —

##### (前橋市)

「tsukurun — GUNMA CREATIVE FACTORY —」は、アニメやゲーム(eスポーツ)を題材に、3DCG、ゲームプログラミング、VR等のデジタル技術を使った創作活動を通し、新たな価値を生み出す人材を育成することを目的とした施設である。

全国初のデジタルクリエイティブに特化した若者人材育成拠点として、令和4年3月にアクエル前橋にオープンした。

については、コンテンツ産業の振興の観点から、tsukurun — GUNMA CREATIVE FACTORY — の現状と取組について調査を行った。

## (1) 概要説明

### ア 説明会場

tsukurun — GUNMA CREATIVE FACTORY —

### イ 説明者及び出席者

eスポーツ・新コンテンツ創出課長、産業経済部長、産業政策課産業戦略室長

### ウ 説明内容

説明資料により、施設の概要説明。

施設体験として、①VR機器による仮想空間体験、②クロマキー撮影スタジオ体験、③3DCGの紹介が行われた。



概要説明の様子

## (2) 視察の状況



VR体験



クロマキー撮影スタジオでの合成体験



3DCGについて説明を受ける様子

### 【主な質疑】

問：来場者の傾向はどうか。

答：現在までの登録者数は182人である。（前橋市96人、高崎市29人、伊勢崎市20人ほか）年齢層は7歳から18歳までの子どもたちに利用いただいている。

問：3D プリンターを導入するとのことだが活用方法はどうか。

答：3DCG でデザインしたものを実際に形にすることを経験することで、子どもたちのひらめきなどを引き出すことができる。

問：子どもたちに向けて出張体験は考えているか。

答：市町村の方々にも見ていただき、市町村でも検討いただき、連携して取組を広げていきたい。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

#### 【所感・意見・感想など】

○松本副委員長

4月20日、産経土木常任委員会で、令和4年3月にアクエル前橋にオープンした「tsukurun — GUNMA CREATIVE FACTORY —」を調査した。

まず、担当者から施設の概要とオープン以来の取組について説明を受けた。ここは、アニメやゲーム(eスポーツ)を題材に、グラフィックデザイン、3DCG、ゲームプログラミング、VR等のデジタル技術を使った創作活動を通し、新たな価値を生み出す人材を育成することを目的とした施設で、全国初

のデジタルクリエイティブに特化した若年人材育成拠点。「習うより慣れよう、学ぶより遊ぼう」と、自分が創りたいモノを自分で創る場所で、知らないソフトや機材も使ってみて、遊んでいたらできるようになっていたという場所を目指している。さらに、プロも使う最先端の機材に触れ、プロフェッショナルの人に出会える場所である。

説明を受けた後、各委員から、施設の利用状況やPR、各地への出張の取組などについて質疑が行われ、3月のオープン以来、メンバー登録者は、7歳～18歳の182人と多くの若者に利用されていて、PRなどについては、市町村と連携を図りながら取り組んでいきたいとのことであった。

利用している学生の中には、既に高度な技術を習得している方もいるそうで、今後ここからクリエイティブな人材が誕生していくのではないかと楽しみである。

最後に、私達も、2DCG(イラスト)、クロマキー撮影スタジオ、VR(仮想現実)などを体験し、調査を終了した。



## 環境農林常任委員会



群馬県林業研究グループ連絡協議会の皆さんと

- 1 期 日 令和4年4月22日(金)
- 2 開催場所 群馬県林業研究グループ連絡協議会 (みどり市)
- 3 出席委員 今泉委員長、牛木副委員長、星野、狩野、小川、井田(泰)、矢野、相沢、追川の各委員

#### 4 調査の概要

##### ◎群馬県林業研究グループ連絡協議会(みどり市)

群馬県林業研究グループ連絡協議会は、県内の20団体の林業研究グループにより組織されている。林業研究グループは、林業やきのこ生産などの技術の研究改善等自主的な活動により、後継者育成・地域林業の活性化を図っている団体である。

同協議会では、機関誌の発行や各種研修会の開催、SNS等による活動内容の情報発信など、地域林業活性化のため積極的に活動を行っている。

については、林業振興対策の観点から、同協議会の事業概要及び取組を調査するとともに、その活動内容について意見交換を行った。

#### (1) 概要説明

- ア 説明会場  
小平の里 会議室
- イ 説明者及び出席者  
群馬県林業研究グループ連絡協議会 酒井氏、塩崎氏、小森谷氏  
(県側出席者)  
森林局長、林政課長、林業振興課長
- ウ 説明内容  
説明資料により、団体の取組や課題等について説明。



概要説明の様子

## (2) 視察の状況



質疑応答の様子

### 【主な質疑】

問：貴研究会が構想する、ブロックチェーンを活用したサプライチェーンマネジメントの仕組みについて御説明をお願いしたい。

答：多様化・細分化する消費者のニーズにリアルタイムで応えるため、個々の持つデータを集めて大きなデータベースをつくり共有する。例えば、ボルドーのワインのように、どの圃場で誰が育てたものかがオープンになるイメージである。データが改ざんされないという信頼性の担保がポイントである。会員を増やし管理費を賄って管理システムを構築するとともに、しっかりとしたデータを収集することが必要と考えている。

問：ブロックチェーンの仕組みを作ることによって、顧客のニーズが多様化しているところに、マッチしやすくなるのか。また、小さな業者にとって販路や顧客の拡大につながるのか。

答：林業では製品になるまで時間がかかり、在庫の管理が難しい。ブロックチェーンを活用すれば、消費者がネットワークを見て自分の欲しい製品を入手することができる。小規模な業者も参加できる。

問：デジタル田園都市構想について、貴研究会では構想をどのように進めていこうとしているのか。

答：当研究会は後継者の育成を行っているが、いかに継げるシステムを作るか。山に入った人が生業を行うことができるようにすることが重要と考えている。そこに、デジタル技術をリンクさせていくことが、成功の一步を踏み出すことにつながると考えている。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

### 【所感・意見・感想など】

#### ○追川委員

群馬県林業研究グループ連絡協議会の研究では、ICTを利用したスマート林業の研究で、ドローンを活用したスマート林業で生産性の向上を図る。3次元点群データの計測で木の本数や太さ、木材の体積まで瞬時に割り出せるので、手間のかかる木の1本1本の計測作業が不要になり作業効率が格段に上がる。

急傾斜の植林作業は、斜面の運搬が重労働で運搬時間を要する苗木の運搬をドローンが空から行うことによって作業員の負担とスピードアップが図れる。

デジタル機器やITの機械を使うスマート林業により、人材不足の解消や作業効率が向上するため、将来にわたって持続可能で、山主も事業者も儲かる林業を目指していただきたい。

また、ブロックチェーンネットワークは、木材の調達、製造、輸送、販売、顧客、廃棄まで、今空いている事業者同士を瞬時につなぎ、素早く事業に移せる画期的なシステムである。

デジタル田園都市構想では、地方からデジタルの実装を進めることにより田舎の魅力を発信し、自宅に居ながらテレワークで地方への人の流れを創出することで、「転職なき移住」を実現し、新たな変革の波を起こす。地方と都市の差を縮めていくことで、優れた田舎暮らしをより豊かにし、地方への移住を促す。移住希望地5位の群馬県に移住者をより多く呼び込んでいただきたい。

## 文教警察常任委員会



高崎北警察署

- 1 期 日 令和4年4月25日(月)
- 2 開催場所 ◎高崎北警察署（高崎市）
- 3 出席委員 伊藤(清)委員長、神田副委員長、  
中沢、橋爪、中島、あべ、金井、  
加賀谷、鈴木の各委員

#### 4 調査の概要

##### ◎高崎北警察署（高崎市）

高崎北警察署は、地域住民の利便性向上を図り、より一層地域に根ざしたきめ細かな警察活動を推進するため、市町村合併により拡大した高崎警察署の管轄区域を分割して新設された。

平成27年度から建設候補地の調査が進められ、令和4年3月、高崎市箕郷町上芝の約1万㎡の敷地に新庁舎が建設され、今年度から供用開始となった。

群馬県警察における警察署の新設は、昭和55年に前橋東警察署が開設して以来41年ぶりであり、県内の警察署は16署体制となる。新庁舎は県産材を活用し、ユニバーサルデザインにも配慮して整備が行われている。

については、新設された高崎北警察署を訪問し、新

庁舎の施設の整備状況等について調査を行った。

#### (1) 概要説明

- ア 説明会場  
高崎北警察署 4階大会議室
- イ 説明者及び出席者  
高崎北警察署長  
警務部長、装備施設課長
- ウ 説明内容  
高崎北警察署の概要について説明。



概要説明の様子



## (2) 視察の状況



署内視察の様子

### 【主な質疑】

問：署員107人体制ということであったが、そのうち女性署員は何人いるのか。

答：男性警察官は97人、女性警察官は10人である。女性の被疑者には女性職員を当て対応している。

問：柔道・剣道場にはエアコンは設置されているのか。また地域に道場を開放しているか。

答：夏場等の暑い時期は大型の扇風機で対応し、冬場等の寒い時期はジェット温風ヒーターで対応する。また、道場は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現在のところ開放していないが、収束後に少年柔剣道教室等の開催を検討している。

問：留置施設における面会は何人まで可能であるのか。また、面会時間はどのくらい可能で、1日何回面会可能であるのか。

答：1回3人まで面会が可能となっている。また、面会時間は15分であり、1日1回である。

問：留置保護室に収容する期間はどのくらいなのか。

答：72時間以内で、特に継続の必要がある場合は48時間ごとの更新となる。

問：留置保護室の収容は、誰が判断するのか。

答：留置業務管理者が判断する。

問：指名手配被疑者小暮洋史捜査本部が設置されているが、現在の捜査状況はどうか。

答：寄せられた情報をもとに、早期解決に向け、徹

底した捜査を継続している。

問：DVや性犯罪被害者などを受けている被害者支援にあたり、専門家との連携はどうか。

答：被害者支援関係は、警察本部と連携した上で、専門家と連絡を取って対応する。

問：検視事案はどのように対応しているのか。

答：検視事案があると捜査員を大量投入して周囲の聞き込み等を実施するとともに、身体の状態を調査して事件性の有無及び解剖の要否等を判断している。

問：庁舎の外観の配色は、伊勢崎警察署や渋川警察署と似ているが、何か決まっているのか。

答：警察本部庁舎ができた後は、警察関係の施設は同じような色にして統一性を持たせ、県民が一目でわかるよう配慮している。

問：運転免許証は即日交付されるのか。また、県民であれば誰でも手続きできるのか。

答：即日交付される。4月18日～4月22日の1週間で355人の県民の方が免許更新の講習に来署された。また、優良運転者講習該当者等の一定の対象者であれば手続き可能である。

問：太陽光発電は設置されているのか。

答：太陽光発電の設置はなく、災害拠点ということもあり、非常用発電機の対応となっている。

※このほか、適宜各委員から質問を行った。

### 【所感・意見・感想など】

#### ○中沢委員

4月25日、高崎北警察署を視察調査した。県道安中線を西に進み、榛名南麓（西毛幹線道路）箕郷町に入ると、グレーにオレンジの淡い色の4階建ての庁舎が見えてきた。早速調査に入ると、署長より懇切丁寧な説明を受けた。整備コンセプトの警察活動の基盤となる機能的な庁舎は、最新の設備を備えており、県民の安全・安心を守る要として、大いに活用されることを期待している。

○橋爪委員

令和4年4月1日、県民の安心安全向上への期待を担い「高崎北警察署（所在：高崎市箕郷町上芝349-1 吉田武署長）」が新設開署した。1万㎡余の敷地に、地上4階建ての災害に強くありながらも維持経費を抑えた、環境負荷低減に配慮した庁舎である。また、西毛広域幹線道路沿いの好立地にあり、初動対応向上を図るために、パトカーの運用台数を増やしてレスポンスタイムの短縮が実現した。これらの環境整備により、広域にわたる高崎市北部地域の治安向上を目指している。さらに、県民サービス向上のために4月18日からは「運転免許関係窓口業務（即日交付）」が開始された。今後、署長以下100余人の警察官・職員の活躍が大いに期待される。

○中島委員

4月25日に文教警察常任委員会の月いち委員会に参加し、感想を含めてごあいさつさせていただく。

今年4月1日から高崎市箕郷町上芝に、41年ぶりに新庁舎ができたことを大変うれしく感じている。

高崎北警察署長が施設を案内してくれ、素晴らしい施設であることはもちろんのこと、今までの高崎署だけでは不便だったことも解消され、また、運転免許関係の窓口業務も4月18日から開始され、とても便利になった。

新設署ができ、その南側に西毛広域幹線道路が通り、地元の皆さまの要望で信号機の設置をお願いしているところである。これからも地域の発展のため、住民の要望をしっかりとつないでいきたい。

# 群馬県議会議員名簿

令和4年6月15日現在

氏名	期	党(会)派	住所	生年月日	電話番号	郵便番号
中沢 丈一	8	自由民主党	前橋市上佐鳥町685	昭23.10.20	027-265-1232	371-0816
久保田 順一郎	6	自由民主党	邑楽郡大泉町中央3-11-24	昭27.8.22	0276-63-8386	370-0516
星野 寛	6	自由民主党	利根郡片品村土出759-1	昭30.6.23	0278-56-2342	378-0412
狩野 浩志	5	自由民主党	前橋市三俣町2-20-7	昭35.8.23	027-232-9635	371-0018
橋爪 洋介	5	自由民主党	高崎市片岡町1-16-8	昭42.4.28	027-326-8866	370-0862
星名 建市	4	自由民主党	渋川市金井424-1	昭31.11.12	0279-24-0067	377-0027
伊藤 祐司	4	日本共産党	高崎市北新波町136-4	昭33.3.5	027-343-8067	370-0082
井田 泉	4	自由民主党	佐波郡玉村町上新田1480	昭38.3.15	0270-65-8577	370-1133
水野 俊雄	4	公明党	前橋市大友町3-12-33	昭47.3.2	027-226-4178	371-0847
後藤 克己	4	リベラル群馬	高崎市八幡町800-24	昭48.6.21	027-343-1393	370-0884
中島 篤	4	自由民主党	高崎市浜川町2266	昭29.10.29	027-395-0818	370-0081
萩原 渉	4	自由民主党	吾妻郡草津町草津464-887	昭28.10.20	0279-88-5977	377-1711
あべ ともよ	4	令明	太田市東今泉町341-1	昭46.10.23	0276-22-1181	373-0021
岸 善一郎	3	自由民主党	高崎市中里町16-1	昭25.3.14	027-372-0488	370-3532
井下 泰伸	3	自由民主党	伊勢崎市本町16-11	昭38.10.23	0270-50-0177	372-0047
酒井 宏明	3	日本共産党	前橋市上新田町676-1 ルミエール105	昭40.10.3	027-254-0476	371-0821
金井 康夫	3	自由民主党	沼田市東倉内町771	昭44.2.16	0278-22-2771	378-0043
金子 渡	3	令明	渋川市石原1498-26	昭45.10.12	0279-25-3050	377-0007
安孫子 哲	3	自由民主党	前橋市城東町2-3-14	昭46.4.24	027-237-0815	371-0016
薬丸 潔	3	公明党	太田市浜町21-32	昭53.7.16	0276-47-0470	373-0853
小川 晶	3	リベラル群馬	前橋市古市町1-43-7	昭57.12.21	027-255-7700	371-0844
伊藤 清	2	自由民主党	安中市原市4-4-28 アヴェニュー南 1F 西号室	昭29.1.6	027-385-7097	379-0133
大和 勲	2	自由民主党	伊勢崎市山王町1163-2	昭39.10.12	0270-22-4599	372-0831
川野辺 達也	2	自由民主党	邑楽郡板倉町岩田1626-1	昭40.9.3	0276-82-4670	374-0133
本郷 高明	2	リベラル群馬	前橋市東善町347-3	昭46.6.28	027-266-1919	379-2132
穂積 昌信	2	自由民主党	太田市龍舞町2235-2	昭49.9.18	0276-60-2220	373-0806
井田 泰彦	2	令明	桐生市新里町新川1181-4	昭53.2.9	080-4353-1428	376-0121
加賀谷 富士子	2	リベラル群馬	伊勢崎市太田町564-1	昭53.4.20	0270-22-2451	372-0006
泉沢 信哉	2	自由民主党	館林市若宮町2451-3	昭33.12.20	0276-72-5071	374-0007
今泉 健司	2	自由民主党	みどり市笠懸町阿左美2887-82	昭52.7.8	0277-76-9499	379-2311
松本 基志	1	自由民主党	高崎市八千代町1-17-8	昭34.7.24	027-325-1727	370-0861
斉藤 優	1	自由民主党	伊勢崎市境291	昭34.11.14	0270-74-0336	370-0124
大林 裕子	1	自由民主党	北群馬郡吉岡町小倉甲91	昭35.2.18	0279-54-3745	370-3607
森 昌彦	1	自由民主党	邑楽郡大泉町坂田4-22-1	昭36.4.26	0276-63-2332	370-0532
八木田 恭之	1	リベラル群馬	太田市東金井町917 大堂ビル1階D号室	昭37.1.1	0276-55-5661	373-0022
入内島 道隆	1	如水会	吾妻郡中之条町四万3838	昭38.2.6	0279-64-2001	377-0601
矢野 英司	1	新時代	富岡市富岡736-4	昭42.10.28	0274-64-9081	370-2316
高井 俊一郎	1	自由民主党	高崎市山名町1510-1	昭50.11.5	027-346-1736	370-1213
相沢 崇文	1	自由民主党	桐生市相生町2-334-2	昭51.2.25	0277-32-3494	376-0011
神田 和生	1	自由民主党	藤岡市上戸塚108-37	昭51.10.13	0274-23-5757	375-0013
金沢 充隆	1	令明	藤岡市西平井228-2	昭52.7.10	0274-37-1258	375-0044
亀山 貴史	1	自由民主党	桐生市菱町4-2251	昭52.7.19	0277-44-3230	376-0001
秋山 健太郎	1	自由民主党	太田市西本町6-6	昭52.10.11	0276-22-3195	373-0033
牛木 義	1	自由民主党	甘楽郡甘楽町上野157-1	昭61.8.5	0274-75-4142	370-2201
追川 徳信	1	友信会	高崎市八幡町1315-17	昭34.5.29	027-343-5063	370-0884
鈴木 敦子	1	リベラル群馬	高崎市倉賀野町1592-2	昭56.2.15	027-335-6485	370-1201

注1 定数50人(現員46人)の各党(会)派別内訳集計(在職年数・年齢順)

2 自由民主党29人、リベラル群馬6人、令明4人、公明党2人、日本共産党2人、新時代1人、如水会1人、友信会1人

群馬県議会時報 第73巻 令和4年第2回定例会

---

令和4年9月20日発行

発行 群馬県議会事務局

前橋市大手町1丁目1-1

TEL 027 (223) 1111

編集 群馬県議会事務局政策広報課

印刷 朝日印刷工業株式会社